



森のなかま

2016年10月号

NO. 102 (継続247号)

事務所が移転しています!!

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 Tel.046-297-0301・Fax046-297-0302

かなりんちゃん

しずくちゃん

第15回『やどりき水源林のつどい』が開催!!

8月11日(初めての山の日に開催) 場所:やどりき水源林(松田町・寄)

＜写真/写真キャプションは星野澄佳さん13期、古館信生さん13期に協力頂きました＞

平成28年度の『やどりき水源林のつどい』が497名の参加者と約100名のスタッフで開催されました。15回目となるこの集いは、森林再生パートナー様や定着型ボランティア団体様の取り組みを県民の皆様に広く発信するとともに、県が取り組んでいる水源の森林づくり事業や水源環境保全再生への諸施策への理解、協力、協働をご理解いただくためのものです。

当日は曇りで逆に猛暑日を回避でき、絶好の開催日和となりました。

午前にはトレッキング(19年度成長の森、林道コース、周遊道Bコース)、森林癒やし体験、水生生物観察等。

午後は式典、森のコンサート、スイカ割り等があり、その後各ブースでの森林交流会となりました。

今年はかなちゃんTVの新規取材も入り、レギュラーの「かなりんちゃん」「しずくちゃん」の“ゆるキャラ”とともに子ども達には抜群のうけでした。

(かなちゃんTVとは:神奈川県内の取り組みや神奈川の魅力、県民の関心が高い情報などを動画で発信する「かなちゃんTV」をインターネット上に開設したサイトです。)

全体会場とトレッキング等のコース



主催 県民との協働による森林づくり実行委員会

公益財団法人かながわトラストみどり財団、神奈川県、神奈川県森林組合連合会、神奈川県木材業協同組合連合会、神奈川県山林種苗協同組合、神奈川県森林協会、連合神奈川株式会社湘南リビング新聞社、株式会社神奈川新聞社、南足柄緑の少年団、箱根みどりの少年団、小田原市特定非営利活動法人かながわ森林インストラクターの会

共催 松田町

協賛 神奈川県内広域水道企業団

交流会会場等

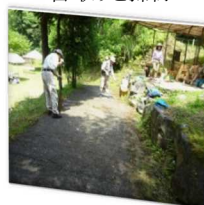


《8/11 前日》準備

滑りやすい斜面の苔取りと掃除

川に入る人への注意書き設置

テントの止め括り



まずは全員集合し
全体ミーティング

《8/11 当日》

バス(新松田駅近く) ⇒ 会場へ (第一陣 8:45~10:00 ……)

準備



当日の開始ミーティング テントの敷シート設置



参加者バス
やどりきにご到着



会場へ



受付&各コースのご案内

トレッキング等のコース (10:00 …… ~12:00)

・成長の森コース(平成19年の一部)・林道コース・周遊道Bコース・森林癒やし・水生生物観察

成長の森コース

川を越え、沢を超え 成長の森へ



あったぞ 孫の名前⇒

林道コース

1700 万年前の
枕状溶岩の説明



周遊道Bコース

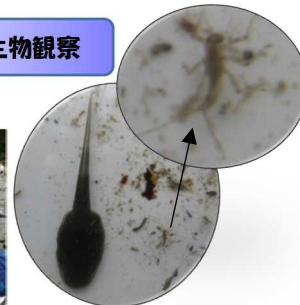


手入れがされ光が入り
下草低木もある豊かな森



ムササビはいるかな?
(樹洞)

水生生物観察



いた!! オタマジャクシ
うーん! 小さい虫もいるぞ

森林癒やし



開催あいさつ 昼食 森のコンサート (12:00~13:00)



司会の
上宮田さん



来賓・主催者・共催代表の皆様



挨拶される
実行委員長

草笛マスターの
師井さんと松永さん



寄祭囃子



今年も行列が
できた鯛焼き



昼食



ロケットラワンに
大人も子供も
夢中です

森林交流会等 (~14:00)



森林再生パートナー
定着型ボランティア等
の活動紹介パネル



丸太切りに挑戦



ドングリ工作等



野点

スイカ割り
ジャストヒット?



この日取材の
かなちゃんTV

(レポーターの
アホマイルド坂本さん)

左) 取材対応の内野さん
水源涵養を実験装置で説明
右) みんなで記念撮影



我が会会員手作りの
グッズ

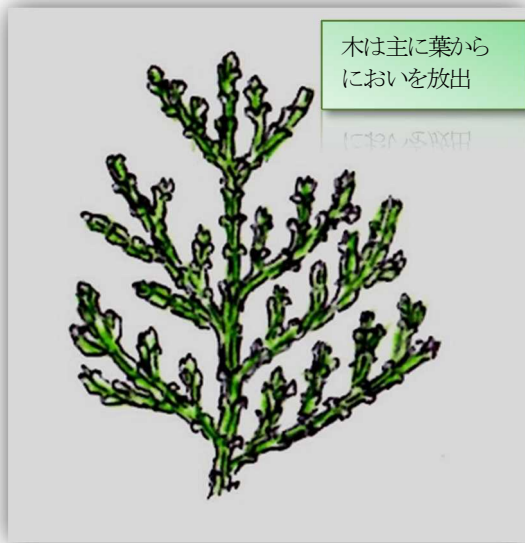
森のめぐみ シリーズ

第15回 森の香りの濃度は？

香りの図書館 館長 谷田貝 光克 氏

枠組は桜の小枝です

木はにおいを葉や幹、そして根からも多かれ少なかれ出しています。花を咲かせる木は花からも香りを漂わせます。草花にしても同じです。ただ、それぞれの部位から出てくるにおいの量が違います。木の場合には主に葉からにおいを放出します。幹や枝は樹皮で被われ、根は土の中にありますので、大気中に飛び回る木のにおいは葉からのものが多いのです。



木のにおいを蒸留などの操作で取り出したものが精油ですが、この精油がそのまま、木から放出されるわけではありません。放出されるにおいの量は精油の量に比べたらほんのわずかです。そしてそれが大気中に放出されるとすぐに拡散してしまいますので、大気中での木のにおいの濃度はたいへん希薄です。樹木精油は通常50種類ほど、多いものでは100種類ほどの化合物を含んでいますが、大気中には特に揮発性の化合物が放出されることになりますので、せいぜい10種類、多くても20種類程度です。大気中での化合物の成分組成は、木の中に含まれていた時の成分組成、すなわち精油のそれとは大きく違い、揮発性の化合物の割合が圧倒的に多くなります。そして、木から放出される揮発性成分はそのほとんどがテルペン類と呼ばれるグループに属するものです。

さて、それでは大気中に放出される揮発性成分の濃度はどの程度なのでしょうか。先ほどたいへ

ん希薄であるといいましたが、その濃度はせいぜい数ppbから数十～数百ppbで、数ppmになることは稀です。1ppmは百万分の一、1ppbは10億分の一です。1%が百分の一ですから、1ppmは1%の1万分の一、1ppbは1ppmのさらに千分の一ですから1%の1千万の一ということになります。数値をいくつも並べましたが、わかりやすく溶液で例えて言うと200Lのドラム缶5000本の水の中に1ccのインクを溶かしたくらいの濃度なのです。

それでは人はどの程度の濃度でにおいを感じるのでしょうか。もちろん人によって違いがありますし、におい物質によっても違いがあります。においの存在を感じる濃度を検知濃度、どんな匂いかを識別できる濃度を認知濃度といいますが、人がにおいを検知、あるいは認知できる濃度はppmからppbなのです。例えばイオウを含んだメチルメルカプタンという悪臭は0.07ppb、オレンジの香りのリモネンは38ppb、クロロホルムやヘキサンなどの溶媒は数ppm、プロパンでは1500ppmにもなります。物質によって大きな差があることがわかります。植物の代表的な香りであるテルペン類のα-ピネンやリモネンは数十ppbでにおいを感じることになります。森の香りは数十～数百ppbですから木々が放出する森の香りは神経を凝らして落ち着いて深呼吸をすれば私たちが感じる濃度域なのです。

面白いことにはにおいの感じ方は濃度によって違ってくるといことです。例えば温泉地で鼻をつくような硫化水素のにおいは薄くなるとゆで卵の香ばしいにおい、油臭く、脂肪臭のつよい脂肪のにおいは薄くなるとバラの花の香りや、オレンジの香りになります。

青臭いにおいを発するカメムシのにおいは薄ければ新茶の香ばしいにおいになるのです。

(イラスト 広報部 大塚 晴子)

活動短信

今回の掲載は平成28年7/16～7/30です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



無料イラストより



鷹乃学習 7/17～7/22頃
たかすなわちがくしゅうす
鷹の幼鳥が飛ぶ事を覚える
第三十三候 小暑 未侯

土潤溽暑 7/28～8/1頃
つちうるおうてむしあつし
土が潤い蒸し暑くなる
第三十五候 大暑 次侯

◆ 株式会社 鈴廣蒲鉾本店

恵水(めぐみ)の森 間伐体験

日 7月16日(土)10:00～12:50、霧雨後曇り

場 やどりき水源林パートナー林(恵水の森)

スタッフ (株)鈴廣(藤瀬様、大関様)

参 (株)鈴廣 お客様(女性4名、男性5名)

県 星様

イ L村井⑨、澤村⑫

小田急から臨む丹沢は雲に包まれ、更に前日の大雨と相俟ってやどりきの様子が心配される状況でした。現地は小雨から霧雨でしたが間伐を行うことにしました。

皆様定刻に到着され道具倉庫の脇で開会式。道具の配布。初めての方ばかりで鋸の付け方、ヒルに襲われにくい靴下の履き方を説明してその上にヤマヒル除けをスプレーして現場へ。

森林の働き、森林の手入れの仕方について道々説明しながら恵水の森へ。到着して「恵水の森」の看板をバックに記念撮影。県水源環境保全課星様より一言、続いて諸注意、準備運動。森の中へ。早速間伐に取り掛かりました。

間伐するのは高さ約11m、太さは目の高さで直径約20cm、植樹後約50年の杉を既に1本選んでありました。

作業に当たっては手順をそれぞれ説明しながら進めました。受け口、追口作りには皆様がそれぞれ1回以上は挑戦して頂きましたが初めてとは思えないいい音を出して間伐鋸を扱っていました。ロープ引きは全員で隣同士つきすぎないよう体制を整え、息を整えて「ヨイショ！ヨイショ！」と。目指す方向より少しずれたものの「ドスン」と音がして倒れると拍手する方や倒れた時の音には感激したと話す方も。枝払い、玉切りも全員で行いました。足元を整理して最後に皆様思いのコースターを作って乾燥の仕方を説明して間伐作業は終了しました。雨の後の滑りやすい中滑って転んだり、ヤマヒルがウヨウヨ動いているのが見える中ヒルに喰われることもなくそして怪我等なく無事終わることができました。倉庫まで道々自然観察をしながら戻りました。特にアスナロ(ヒバ)の説明には笑いを誘いました。ガマガエルに出会い、露岩には恐怖を感じ倉庫に

戻り道具の手入れをして閉会式を行い次のプログラムへと皆様やどりきを後にされました。

(記 澤村 徹 ⑫)

◆ 県民参加の森林づくり 下刈り

日 7月17日(日)8:30～14:30、曇り後晴れ

場 小田原市久野(市有林)

参 一般39名

財 豊丸課長、鳥海様 **看** 青木様

スタッフ 小田原市、小田原市森林組合 計2名

イ L西出⑫、森本⑤、白畑⑦、園田⑨、上宮田⑪、大原⑬、武井⑬、藤代⑬、前田⑬

研 岩田⑭、木村⑭、小松⑭、鳥海⑭

予定通り、8時40分、小田原駅西口をバス3台で出発し、9時から、辻村植物園内の広場でオリエンテーションを行った後、現場に移動して道具を配布し、9時40分から作業を開始しました。湿度が高く、時折日が射す厳しい条件でしたが、参加者の皆さんには、こまめな水分補給を心掛けながら、下刈に奮闘して頂きました。その結果、作業は30分以上早く終わることができました。現場は、3～5年前に広葉樹が植栽された所で、作業前はそれらの木々がほとんど見えない程に草が生い茂っていましたが、下刈後は見事に草が刈られて、木々だけが見える素晴らしい風景に変わり、参加者の皆さんは、その成果に十分満足された様子でした。

午後は、辻村百樹氏の案内で辻村植物園を見学しました。きれいな水が湧き出る水源、小田原城天守閣や二宮神社の鳥居に使われた杉の大木の伐採跡、水力発電所跡、メガソーラー等を見学し、森林浴を楽しみながらの散策となりました。終了後、バスで小田原駅に戻り、予定よりも早く解散となりました。暑いさなかの参加者の皆さんの努力に頭が下がる思いを抱きつつ帰路につきました。

(記 西出 健一 ⑫)

◆ 横浜市立中山小学校 愛川宿泊体験学習 林業体験

日 7月19日(火)10:00～13:30

場 長竹承継分収林

参 74名(5年生 66名、教師 8名)

財 豊丸課長、靱山様

イ L西出⑫、井出①、渡部⑦、齋藤⑧、小沢⑨、村井⑨、菌田⑬

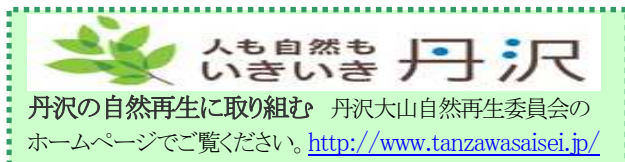
心配された空模様も朝から晴れとなり、少し蒸し暑い一日となった。

予定時間の10時少し前にバス2台で愛川ふれあいの村に到着、トイレ休憩の後、インストラクターもバスに同乗し長竹承継分収林に出発。

6グループに分かれ装備を付けて、途中植物の観察をしながらスギとヒノキの違い、明るい森と暗い森の下草の生育の違いを体験する。

現場到着後、伐倒する木を選木して間伐の目的を説明し、切る位置毎に3班に分け、ノコギリを挽き始めたが全員初体験、引いても押しても鋸が動かず息が切れました。それでもみんなで協力して無事倒すことができ拍手喝采、枝を払い玉切りをして作業終了、数匹の山ビルを皆で観察しましたが被害は無く全員無事に下山出来ました。下の農道際で道具の手入れ終了後バスで愛川ふれあいの村に戻り閉会式をして終了となりました。

(記 藺田 栄哉 ⑬)



◆ 神奈川県水道記念館 水源林保全体験

日 7月22日(金)10:20~14:40、雨

場 県立21世紀の森

参 36名(大人12名、子供24名)

財 小林智美様(看護師)

イ L 白畑⑦、高橋③、西出⑫、小松⑭

神奈川県営水道供給区域内に在住の小・中学生とその保護者を対象として、竹林での除伐体験や間伐材を利用したクラフト工作によって、水資源に係りの深い森林保全についての関心を深めてもらう体験イベントであるが、当日は生憎の梅雨にたたられ、雨中作業となるため竹林除伐を他の体験に変更した。

時間の経過は、10時20分に到着し、挨拶、概要説明のあと10時45分~12時は、傘をさしながら21世紀の森のスタンプラリーと森林館内展示室での説明(水資源・森林の現況、保全の取り組み等)を行った。昼食の後の13時~14時40分は各人が自分だけの箸づくり(カンナ削り、電気ごてで印字)に取り組みました。

「雨で除伐ができずに残念」との声も聞かれたが、スタンプラリーで森林内を巡ることができた上に神奈川県の水資源の状況を初めて知った人も多く、また触ったこともないカンナを使い箸を自作でき、「参加してよかった。楽しかった!」との感想だった。

(記 小松 立史 ⑭)

◆ 一般社団法人神奈川県法人会連合会 下草刈り活動

日 7月23日(土)10:30~12:00、曇り

場 南足柄市 県立21世紀の森

参 366名

県 武田様 看 青木様

スタッフ 神奈川県法人会連合会 事務局3名

イ L 松本⑪、友谷①、森本⑤、永野⑥、有坂⑧、鈴木⑧、小沢⑨、村井⑨、大塚⑪、東⑫、石川⑫、澤村⑫、西出⑫、大原⑬、水上⑬、立花⑭、鳥海⑭、岩田⑭

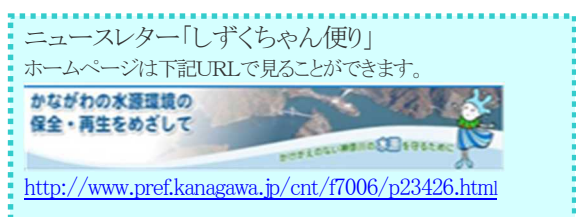
梅雨が明けきらず少し薄日が射しかけようとする曇り空。炎天下よりは好都合な草刈日和となった。神奈川県内の18法人会の366名もの方々が遠方よりバス、自家用で駆けつけ、集合場所では挨拶を交わし再会を喜ぶ歓声が溢れた。法人会連合会会長の蓑原会長様より、今年で15回目の活動、従来はやどりきで開催していたが初めて県立21世紀の森の成長の森で行う、安全の注意と配慮等々ご挨拶があり活動開始となった。

18班に分かれて担当場所が表示された各地域を目指し班毎に行進し移動した。植樹された背丈の低い草の下方地域に6班、未植樹の人の背丈より高い草が混じる上方地域に12班が配分された。担当場所到着後其々インストラクターが改めて作業方法や安全について詳細に説明し作業開始となった。

未植樹の地域では班の中の屈強な熟練者を先頭に横一線に配置できるよう鬱蒼とした未開の地を切り開いていた。曇り空といっても蒸し暑く休憩や給水をこまめに取り、厳しい状況下での壮大なスケールの草刈となったが、開始から約1時間弱後には見事に草を刈り倒し見渡しの良い素晴らしい植樹地を作り上げた。参加者から感嘆の声も聞かれる程の満足の出来栄で、植樹木の無花粉杉や来年書樹される予定の樹木にとってこの上ない環境を提供することができた。

作業を終了した班から撤収を開始し、参加証明書の授与、会長からの労いの言葉を聞きながら三々五々次の目的地であるお楽しみの場を目指して散会していった。事故や負傷、心配していた熱中症もなく安全に充実した草刈り活動となった。

(記 岩田 典義 ⑭)



◆ 生長の家 間伐

日 7月3日(土)12:30~15:10、晴れ

場 南足柄市塚原ボランティア林

参 27名(大人26名、こども1名)

イ L 藺田⑬、齋藤⑧、村井⑨、武井⑬、水上⑬

予定より10分前に到着。準備体操の後、5班に分かれ現場。今まで竹林整備や下刈りをされているが、間伐は初めてとのことで、森林の役割・間伐の必要性・基本作業等を説明。

作業の手順として、伐倒方向の確認後、ロープかけ、受け口、追い口と一連の作業を進めながら伐倒をした。その後、枝払い・玉切りをして斜面に安定するように整理整頓。間伐鋸に慣れていないこともあり、受け口の斜め切りに苦

労し、汗をかきながら悪戦苦闘している場面も見られました。特に、受け口と追い口の“つる”を残す事の重要性を理解して頂き、間伐作業の手順に感心されて作業を終えました。

道具類の清掃・整備をして終了。梅雨の合間の晴れの暑い中、全員ケガなどもなく帰路に就きました。

(記 水上 正昭 ⑬)

◆ 日揮株式会社 パートナー林活動

「水棲生物の観察とクラフトワーク」

日 7月30日 9:40~14:30、晴れ

場 やどりき水源林

参 15名(大人10名 子供5名)

イ L 宮本④、斎藤⑥

午前中は広場前の寄沢に於いて水棲生物の採集・観察、午後は集会棟でクラフトワーク活動を行った。

当日は関東地方の梅雨明け宣言2日目の快晴の天候に恵まれ、水温18℃の清涼な沢の中で、参加者全員が網を持って沢に入り、生物の棲み家である大小の岩石をまさぐって、バケツの中に採集した。

バケツの中の採集生物を広場に持ち帰り、予め設置した机上のバットに移し、ピンセットやサジを用いて観察ケースにピックアップ後、生物名を同定し観察した。子供達には「採集生物記録表」を渡し、表中の生物イラストに○印をつけて持ち帰ってもらったが、記録表に記載した殆どの生物を採集することができた。

最後に寄沢の水が横浜市や川崎市の水道水として利用されていること、環境省策定の生物環境指標、主な生物の変態、プラナリア、サワガニ、カジカガエルなどの面白話など、資料(管理棟常備の説明資料ファイル)を用いて説明した。

午後は斎藤インストラクターがメインとなって「うぐいす笛」「ミニ下駄ペンダント」のクラフトワークを行った。

「うぐいす笛」づくりは斎藤インストラクターが、予め準備持参した竹材を音の出る位置に接着、「ミニ下駄ペンダント」づくりはミニ下駄の穴に鼻緒を通して下駄に仕上げ、ペンダントにする作業であったが、「うぐいす笛」は特に子供達、「ミニ下駄ペンダント」づくりは女性陣に大変人気があり、時を忘れてクラフトワークを楽しんでいた。

なお、昼食時には日揮社の企画で「スイカ割り」のイベントもあり、子供達には夏休みの楽しい思い出づくりになったと思う。

(記 宮本 聡 ④)

◆ 富士通株式会社神奈川支社

かながわ水源の森づくり 枝打ち&間伐作業

日 7月30日(土)9:00~13:00、快晴

場 南足柄市塚原ボランティアフィールド「はじまりの森」

参 37名(大人33名、子供4名)

イ L 西出⑫、大道⑥、村井⑨、澤村⑫、立花⑭

朝から日差しが強く風もなく猛暑になりそうな気配。9時過ぎ着き倉庫から道具搬出し、各班別セットする。日陰を探し作業打合せ済ませ、参加者を待つ。交通渋滞でバス到着が10時過ぎに。開会式(挨拶を戴き、リーダーがインストラクター紹介、今日の作業要点・注意事項、準備体操で体を解し、道具携行し班ごとに「はじまりの森」へ。

1班から5班と続き作業場所に入る。3班迄は間伐、4~5班は枝打ち、樹種は檜、樹高4~5m、直径10~15cm、樹間は狭いが間伐・枝打ちとも楽しく活動出来ました。

子供達4人は家族一緒に、枝打ち作業を行い2本以上体験された。作業あとを捷認すると明るくなり視界が広がった。

11時30分から間伐した檜でコースター作り皆で檜の香りを楽しみ、作品はお土産に持参。12時集合場所へ戻り道具清掃し作業終了、ヒヤリハット、や怪我無しまた快晴の中で熱中症も無く無事終わりました。貴社ご担当の瀬戸様から、来年度も予定のお言葉を頂きました。12時30分全員でバスを見送り終了。

使った道具類を倉庫へ納め、集合場所で反省会、終了後木陰でタマアジサイの開花を眺めながら昼食を摂り13時35分下山、無事終了皆さんに感謝です。

(記 立花 康美 ⑭)

投稿概略フォーマットと略語の説明

ページレイアウトは気にされずベタ書きで結構です。

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)

場 場所

参 参加者&人数

県 神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財 ((公財)かながわトラストみどり財団)、看 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター(○数字:期) 研 研修枠

以下本文

(以下本文を概ね400字を目安として執筆ください)

リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします



かながわ森林インストラクターの会は

『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。

全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

<NPO 法人 かながわ森林インストラクターの会>からのお誘い



10月15日(土) 「大山の自然を観察」

(丹沢大山自然再生委員会と共催)



小田急・秦野駅 8時00分 集合

コース：秦野駅→(バス実費)→ヤビツ峠→イタツミ尾根→大山→雷ノ峰尾根→見晴台→阿夫利神社下社

※15時30分頃解散予定 歩行距離 約6.0km (標高差500m)

募集：10月8日必着 参加費：1,000円 割引はありません



11月20日(日) 深秋の岳ノ台「ヤビツ峠周辺の登山道を歩こう」

(公益財団法人かながわトラストみどり財団と共催)

小田急・秦野駅 8時00分集合

コース：秦野駅→(バス実費)→ヤビツ峠→岳ノ台→菩提峠→ヤビツ峠→蓑毛

※15時30分頃解散予定 歩行距離 約8.5km

募集：11月13日必着 参加費：1,000円 みどりのトラスト会員証提示で500円

////////////////////

雨天決行、バス代個人負担です。状況によりコースの変更があります。

持物：昼食、飲み物、雨具など必要と思われるもの。

服装：ハイキングが出来る程度(長袖、長ズボン、帽子) 履き慣れた靴

募集人員：各80名

申し込み：往復はがきに、森林探訪名、開催日、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、

〒252-0332 相模原市南区西大沼1-25-4

かながわ森林インストラクターの会 自然観察部会 内野ミドリまで

問合せ 電話 042-758-5058 E-mail s-mcolt@vmail.plala.or.jp

2016年度丹沢大山自然再生生活動報告会
丹沢大山自然再生シンポジウム

プログラム

▶ 開会あいさつ

…丹沢大山自然再生委員会 委員長 羽山 伸一

▶ 丹沢大山自然再生の活動報告(予定)

「神奈川県狩猟者の公的捕獲と後進育成に関する意識」

…公益社団法人 神奈川県猟友会

「森林探訪『大山の自然を観察』の取り組みと普及啓発」

…NPO 法人 かながわ森林インストラクターの会

「伊勢原森林里山研究会の新地平―野生動物共生の森づくり」

…NPO 法人 伊勢原森林里山研究会

「伊勢原市における地域ぐるみの鳥獣被害対策の取組」

…伊勢原市農業振興課

「丹沢大山自然再生計画の取組」…神奈川県自然環境保全センター/丹沢大山自然再生委員会 事業計画評価専門部会

▶ パネルディスカッション テーマ「今後の自然再生の方向―丹沢大山自然再生基本構想作成から10年を迎えて―」

コーディネーター 相模原市立博物館 学芸員 秋山 幸也

▶ 閉会あいさつ

…丹沢大山自然再生委員会 副委員長 久保 重明

お申込
(10/20締切)▶ ホームページから 丹沢大山自然再生委員会ホームページ(<http://www.tanzawasaisei.jp/>)

▶ お電話・ファクシミリから ☎ 046-248-0323(内線298) / FAX 046-248-0737

※お名前、お電話番号、ご所属の団体名をお知らせください。

ホームページ
QRコード

平成28年10月29日(土) 13:00~16:00

厚木商工会議所 501会議室 ▶入場無料 ▶定員120名

(神奈川県厚木市栄町1-16-15 「厚木駅」北口 徒歩10分) ※申込多数の場合、抽選となります。

主催 丹沢大山自然再生委員会/共催 神奈川県自然環境保全センター



やどりき水源林 ミニガイド

9月のトピックス

やどりき当番日に普段お目にかかれ
ない寄大橋を見る事ができました。



(塗装工事足場の寄大橋 9/18 松本)

10月の水源林

少し訪れ始めた秋の気配です。
種々の木の実があり、トンボやバッタ
がいるやどりきにお出かけください。

「森の案内人」情報

- 実施時間：毎週土曜・日曜・
AM10時・PM1時、1～2時間程度
- 集 合：水源林入口ゲート前
- 内 容：森林インストラクターが自然
観察にご案内します。森林のしくみ
手入れなどについて説明致します。
参加自由、参加費無料
- *10人以上の団体は事前に下記ま
でご連絡ください。
- 問合せ：(公財)かながわトラス
ミどり財団 TEL：045-412-2255
FAX：045-412-2300
- ホームページ： <http://www.ktm.or.jp>
- E-mail: midori@ktm.or.jp
- やどりき水源林までの道順
小田急線新松田駅または JR 御殿場
線松田駅下車、富士急湘南バス「寄
(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス
下車後(案内板あり)川沿いに徒歩
35～40 分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

「木づかいシンポジウム2016」

～人にやさしい木のある暮らし～

(林野庁補助事業)

木を「伐る」、「使う」、「植える」、「育てる」

日時 10月16日(日)開会:13:30 開会16:00(予定)

会場 東京証券会館 <http://www.ts-kaikan.co.jp/>

申し込み締め切り 10月15日(土)17:00

※締切後お席に余裕がある場合、当日参加も受け
ますので参加希望の方は、直接会場へお越し下さい

【開会挨拶】 日本木材総合情報センター

【来賓挨拶】 今井 敏氏 (林野庁 長官)

【基調講演】 安藤 直人氏 (東京大学 名誉教授)

【事例紹介1】 林 千晶氏

(株式会社ロフトワーク 代表取締役)

【事例紹介2】 佐藤 岳利氏

(株式会社ワイズ・ワイズ 代表取締役社長)

詳しくは、「木づかいシンポジウム2016」WEB
サイトをご覧ください。

<http://unei-jimukyoku.jp/kidukai/>

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集し
ています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

Mail: s_akasaki-k_instructor@live.jp

Tel: 090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】水口 俊則

〒250-0871 小田原市下堀 123

Tel/Fax: 0465-42-7240

Mail: minagold109@kj.biglobe.ne.jp

【別冊はCCを】福島 正治 (事務局長)

〒214-0006

川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fukky52000@yahoo.co.jp

原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) [http://www.forest-](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

[kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

(HP 担当: 井出恒夫)

編集後記

★だんだんと涼しくなりましたね。今年は
箱根で美しい秋の七草の観賞をして、近
所ではエビヅルに栗の実を収穫しまし
た。もうすっかり、実りの秋を堪能しまし
た。(大塚)

★猫がベッドで一緒に寝てくれるようにな
りました。秋ですね。(赤崎)

★八百屋さんの店先で「栗」を見つけ、早
速渋皮煮を作り始めたら、なんとお砂糖が
足りません! 中断してしまったら、固くな
ってしまいました。二回目はとって〜も美
しい渋皮煮になりました。準備の大切さ
を実感です。(小川)

★9月に入り雨ばかり。いろんな行事が流
れ大変です。元気なのは庭の雑草。草引
きもいつできるのか?(水口)

★相模原市や厚木市で猿の被害が報じら
れました。私も先日、愛川で大きな雄猿に
出くわしました。目を合わせないように無
関心を装い離れましたが怖いですね。
(菌田)

★甘いヤマボウシの実、酸っぱいヌルデ
の実、ガマズミの実、イチイの実もいい
な、アケビやサルナシももうすぐかな! 生
のヤマグリもシブとり食べます。秋です。
子どもの頃、一日中山に入り、おなか一杯
になり、帰りはキノコをお土産に家に帰り
ました。でもクマさんの分は残しておきま
した。(松本)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方
は、郵便局備付けの郵便振替を利用し
てお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛ま
で寄附2000円をお振込み下さい。振
替用紙には、必ず、住所、氏名を明記し
て下さい。

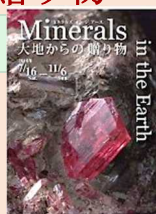
振替用紙到着の翌月号から12回/1年
間お届け致します。

編集人: 松本 保
事務局: 福島 正治
広報部: 水口俊則 赤崎さほり
小川和恵 菌田栄哉
大塚晴子 小池 哉
支援 伊藤恭造 大原正志
江頭淑子

Minerals in the Earth —大地からの贈り物—

2016年7月16日(土曜)～2016年11月6日(日曜)

地球は岩石でできています。その岩石を造っているのは、鉱物です。
そして、その鉱物を造っているのが元素です。鉱物は、元素の集合体
です。元素の組み合わせにより、鉱物の種類が変わります。
元素の種類や濃度、元素が集まるときの温度や圧力によってもできる
鉱物の種類が違います。今回の展示では、地球の様々な営みとその
条件の中でできた鉱物について紹介します。鉱物の美しさ、不思議さ、その多様性な
どさまざまな魅力をお楽しみください



県立生命の星・地球博物館 神奈川県小田原市入生田 499

Tel: 0465-21-1515 Fax: 0465-23-8846

<http://nh.kanagawa-museum.jp/exhibition/index.html>